

【第8期介護保険事業計画の自己評価（R5年度評価）】

<総合評価>
 ・A：目標を上回る実績であり、達成目標に向かい進捗した。
 ・B：目標と同程度の実績であり、達成目標に向かい進捗した。
 ・C：目標を下回る実績だったが、達成目標に向かい進捗した。
 ・D：目標を下回る実績であり、達成目標に向かい進捗できなかった。

※ R5については、R6.1末現在

計画目標 (基本理念)	協働による森の国まつ『地域包括ケアシステム』の構築 ～住みたい、住み続けたい、生きがいあふれる町づくりを目指して～
----------------	--

指標 NO.	達成目標	目標達成のための取組内容	進捗管理指標	現状	単位	数値目標			実績			達成状況			総合評価 (4段階)	評価理由	課題及び対策	
						R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5				
100	1 地域ネットワークの充実	① 地域における見守りネットワークづくり	森の国まつ・ききされネットワーク会議の開催回数	1	回	1	1	1	1	1	1	100%	100%	100%	B	目標通り開催できた。	引き続き、高齢者の安全・安心の確保と安否の早期確認のため連携強化を図る。	
200			② 地域住民主体の地域づくりの推進	森の国ささえあい創り隊の会議回数	6	回	6	6	6	0	0	0	-	-	-	B	今年度、会議は開催できなかったが、昨年度同様、毎日体操の普及啓発に取り組んだ。 また、地域包括ネットワーク会議や地区福祉活動推進委員会の中で、町の社会資源や各地区の地域づくりについて検討した。	来年度会議を開催し、協議体の在り方、メンバーについて検討予定。
300			③ 交流機会の確保と支援	老人クラブ活動への補助数	9	件	10	10	10	10	10	10	100%	100%	100%	B	目標通りの実績となった。	引き続き補助することで活動を支援する。
400			④ 関係機関との連携強化	地域ケア連絡会・地域包括ネットワーク会議の開催回数（地域ケア連絡会）	46	回	46	46	46	4	22	20	9%	48%	43%	C	昨年度から隔週の頻度で開催。医療・介護・保健関係者間の情報共有やケース検討の場となった。	今後も隔週で開催予定。
500				地域ケア連絡会・地域包括ネットワーク会議の開催回数（地域包括ネットワーク会議）	10	回	10	10	10	4	7	7	40%	70%	70%	B	予定通り開催できた。内容は多岐にわたり、医療・介護・福祉の連携の要となっている。	今後も継続予定。
600				地域連携会議の参加回数	10	回	10	10	10	1	7	8	10%	70%	80%	B	予定通り、会議に参加できた。	鬼北町立北宇和病院を中心とした、医療・介護・福祉の連携の要となっており、引き続き会議に参加していく。
700	2 自立支援・重度化予防	① 健康増進活動への支援		総合健康相談の実施（件数）	9	件	10	10	10	0	5	8	-	50%	80%	C	可能な範囲で健康相談を実施した。	保健師のマンパワー不足により、目標達成できていない。今後も可能な範囲で健康相談を継続する。
800			重点健康相談の実施（回数）	14	回	14	14	14	13	13	13	93%	93%	93%	B	実施方法を検討し、健康相談はほぼ予定どおり行えた。	目標値に近い実績となった。	
900			重点健康相談の実施（人数）	341	人	350	350	350	20	295	339	6%	84%	97%	B			
1000		② 疾病予防と病気の早期発見		がん検診日等健康相談の実施（回数）	5	回	5	5	5	0	0	0	-	-	-	-	新型コロナウイルスの影響などにより、健康相談は中止した。	近年実績がないことから、進捗管理指標自体の検討が必要である。
1100				がん検診日等健康相談の実施（人数）	230	人	230	235	240	0	0	0	-	-	-	-		
1200				集会所等での健康相談・教育の実施（回数）	13	回	8	8	8	1	1	3	13%	13%	38%	C	新型コロナの影響で、回数、参加人数ともに目標値を下回った。	行政主体で実施する健康相談・教育のみならず、地域のサロン活動などへの参画も含め、幅広く疾病予防等についての取組を推進する。
1300	集会所等での健康相談・教育の実施（人数）			93	人	40	40	40	14	12	21	35%	30%	53%	C			

【第8期介護保険事業計画の自己評価（R5年度評価）】

<総合評価>
 ・A：目標を上回る実績であり、達成目標に向かい進捗した。
 ・B：目標と同程度の実績であり、達成目標に向かい進捗した。
 ・C：目標を下回る実績だったが、達成目標に向かい進捗した。
 ・D：目標を下回る実績であり、達成目標に向かい進捗できなかった。

計画目標 (基本理念)	協働による森の国まつの『地域包括ケアシステム』の構築 ～住みたい、住み続けたい、生きがいあふれる町づくりを目指して～
----------------	---

※ R5については、R6.1末現在

指標 NO.	達成目標	目標達成のための取組内容	進捗管理指標	現状	単位	数値目標			実績			達成状況			総合評価 (4段階)	評価理由	課題及び対策			
						R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5						
13□		③ 一般介護予防事業	介護予防教室の実施回数(延)	80	回	60	62	65	38	47	40	63%	76%	62%	C	介護予防事業の実施により、ADLの改善・維持、認知症予防にもつながっている。	来年度も継続予定。 介護予防講座については、サロンや老人クラブ等に働きかけ、実施していく。			
14□			介護予防教室の参加者数(延)	550	人	470	480	500	329	379	407	70%	79%	81%	B					
16□	3 認知症の共生と予防	① 認知症支援体制の整備	認知症地域支援推進員の配置	5	人	5	6	6	6	6	6	120%	100%	100%	B	目標どおりの配置ができており、認知症に対する支援体制づくりにもつながっている。				
17□			認知症カフェの開催回数	0	回	1	2	2	0	4	1	-	200%	50%	C	回数は目標に届かなかったが、充実した内容でのカフェを開催することができた。	来年度、定期的開催予定。			
18□			認知症サポーター数	-	人	20	30	40	12	30	60	60%	100%	150%	A	目標以上のサポーター数となった。	今後、ステップアップ講座も開催し、チームオレンジの整備について検討予定。			
19□	4 高齢者の安全と安心	① 地域包括支援センターの機能強化	心配ごと相談事業実施回数	12	回	12	12	12	11	10	12	92%	83%	100%	B	今後も継続して実施していく。				
20□			② 高齢者の権利擁護と措置	消費者被害数	0	件	0	0	0	0	0	0	-	-	-	B	消費生活相談員との連携を図り、生き生き相談対応を継続する。			
21□				養護老人ホーム入所措置相談数	2	件	1	1	1	3	5	0	300%	500%	-	-	目標以上の相談件数となった。	引き続き相談を受け付けるとともに、措置の必要性について適正に判断する。		
22□			③ 安全で安心して暮らせる環境の整備	支え合いカード設置数(新規)	16	件	25	25	30	22	32	40	88%	128%	133%	B	新規設置数については、目標以上の設置ができた。	引き続き実施していく。		
23□				支え合いカード設置数(更新)	50	件	60	65	70	55	21	23	92%	32%	33%	C				
24□				緊急通報システムの周知回数	3	回	3	3	3	2	4	3	67%	133%	100%	B			目標どおりの実績となった。	引き続き実施していく。
25□				緊急通報システムの新規設置者数	4	件	2	2	2	2	2	4	100%	100%	200%	A			目標以上の新規設置者数となった。	
26□	5 在宅生活の支援	① 在宅支援サービスの充実	介護予防ケアマネジメント数	47	件	40	40	40	32	33	35	80%	83%	88%	B	目標と同程度の実績だった。	今後も支援体制の継続を図っていく。			
27□			在宅支援サービスの周知回数	6	回	3	3	3	3	-	-	100%	-	-	C	各種会合での周知は目標値を下回ったが、関係機関との連携による周知はできた。今後は、各種会合での周知に努めたい。				
28□	6 持続可能な介護保険制度の構築	① 相談体制の充実	相談事業による相談数	255	件	400	410	420	295	350	539	74%	85%	128%	A	昨年度より相談件数が増加し、目標を上回った。	今後も相談体制の充実・強化を図っていく。			

【第8期介護保険事業計画の自己評価（R5年度評価）】

<総合評価>
 ・A：目標を上回る実績であり、達成目標に向かい進捗した。
 ・B：目標と同程度の実績であり、達成目標に向かい進捗した。
 ・C：目標を下回る実績だったが、達成目標に向かい進捗した。
 ・D：目標を下回る実績であり、達成目標に向かい進捗できなかった。

※ R5については、R6.1末現在

計画目標 (基本理念)	協働による森の国まつの『地域包括ケアシステム』の構築 ～住みたい、住み続けたい、生きがいあふれる町づくりを目指して～
----------------	---

指標 NO.	達成目標	目標達成のための取組内容	進捗管理指標	現状	単位	数値目標			実績			達成状況			総合評価 (4段階)	評価理由	課題及び対策	
						R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5				
29□	③ 介護保険サービスの適正化の推進	② 介護保険サービスの質の向上	人材育成、確保、定着のための研修会への参加人数	0	人	5	5	5	0	0	6	-	-	120%	B	引き続き介護人材育成支援補助金を活用し、会議等で周知・啓発に努める。		
30□			要介護認定及び認定結果の点検数	全	件	全件	全件	全件	全件	全件						B	各種研修の受講により、適正な業務執行を行うとともに、新規申請者に対しては認定の必要性を確認する。	
31□				-	件	379			379				100%	100%	-			
32□			ケアプランの点検数	30	件	30	30	30	38	38	47	127%	127%	157%	A	ケアプランアドバイザーによる指導を踏まえ、引き続き軽度者に対する福祉用具貸与等を中心に全件チェックを行う。		
33□			住宅改修、福祉用具購入・貸与の点検数	62	件	60	60	60	34	37	41	57%	62%	68%	B	件数は目標値に届いていないが、全件実施できた。また、書類だけでは分かりにくい箇所は現地確認を実施した。		
34□			医療情報との突合・縦覧点検回数	12	回	12	12	12	12	12	12	100%	100%	100%	B	引き続き縦覧点検・医療情報との突合を確認する。		
35□			介護給付費通知	3	回	3	3	3	3	3	3	100%	100%	100%	B	引き続き、介護給付適正化のため、介護サービスの利用状況の通知を送付する。		